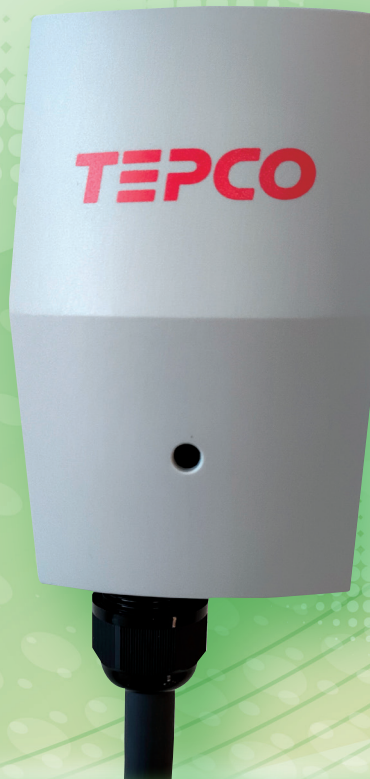


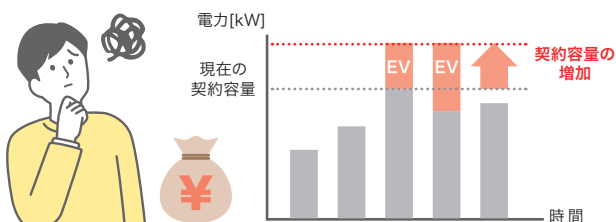
多台数対応 EV普通充電器



複数台EV導入を
ご検討の方、**必見!**

複数台EVを導入すると、
こんなお困りごとが起きるかもしれません!

ケース① 契約容量(基本料金)が上がってしまう



ご使用中の電力にEV充電電流が加わるため、契約基本料金が上がる可能性があります。

ケース② 電気設備の容量が足りない



ご使用の電気設備で空き容量が不足する場合、設備増強にコストがかさむ可能性があります。

これらのお悩みを、多台数対応EV普通充電器が解決します!

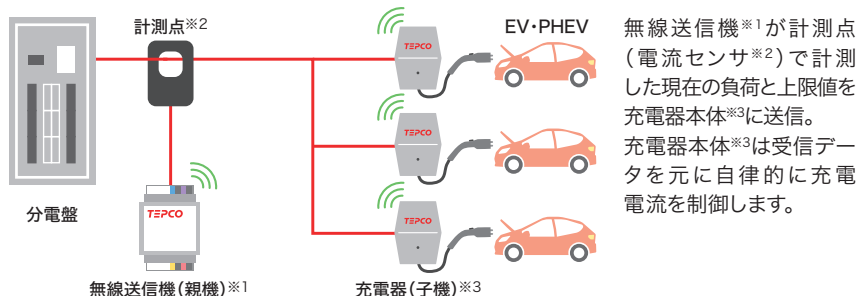
製品概要

予め設定された合計電力に収まるように、充電器が自らの充電電流を制御し、
契約容量/電気設備容量の増加を抑制します。

製品構成



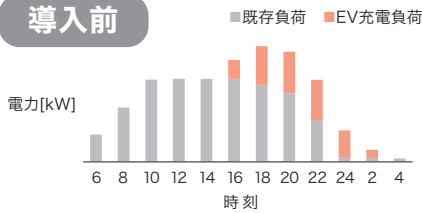
電流制御の仕組み



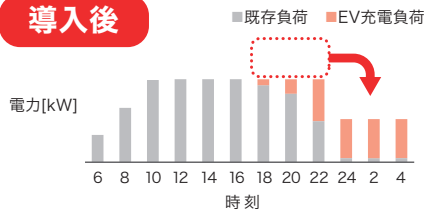
製品の特長

1

導入前

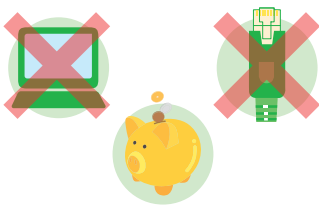


導入後



充電器の充電電流制御により、EV充電負荷を電気設備容量や契約容量以下に抑えながら充電が可能です。

2



ローカル無線通信の採用で通信線工事や通信料が不要。また、外部制御装置を無くすことで導入コストを抑えました。

3

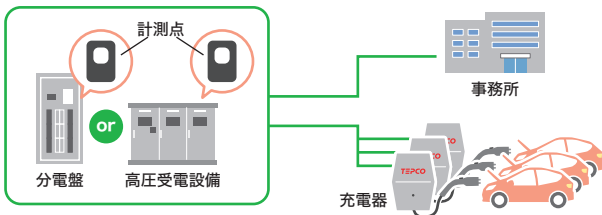


取付穴は一般的なコンセントと同じ83.5mmピッチ。軽量・コンパクトなので設置場所を選びません。

用途に応じた設置パターン

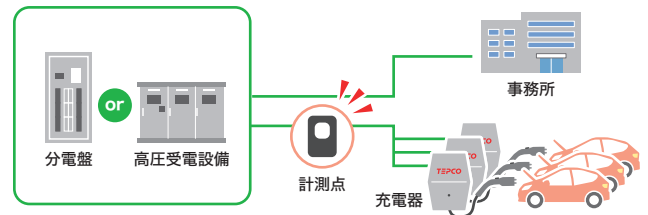
お使いの電気設備容量や空き容量に応じて、2通りの設置が可能です。

1 電気設備負荷全体を計測し、EV充電電流をコントロール



メインブレーカー付近で電流値を計測することで、事務所等の既存電気設備全体に対する空き容量を判断し、設定した電流負荷の上限値を超えないように充電器の出力をコントロールします。

2 任意のEV充電回路を計測し、予め設定した容量内でコントロール



EV充電専用回路の分岐ブレーカー容量が複数のEV充電に対して不足する場合は、容量を超えないように、電流負荷の上限値を設定することで、ブレーカーを落とさずにEVを充電することが可能です。

商品仕様

	充電器	送信機
品番	JW-EVSE-TPC01-0340	JW-WMT-TPC-01
定格	単相 AC200V 16A 50/60Hz	DC12V (100~200V ACアダプタ付属)
質量	約1.2kg	100g未満
使用温度範囲	-20°C~40°C	-20°C~40°C
防塵防水	IP44	—
寸法	128×80×85mm (突起部ケーブル含まず)	90.1×52.8×58mm
充電ケーブル長	標準仕様:4m (オーダー可能)	—
最大充電出力	3.2kW/台	—
製造メーカー	株式会社ジゴワッツ	

よくあるご質問

- Q1 送信機1台で何台まで接続できますか。
A 設計上最大63台まで可能です。
- Q2 無線送信機と充電器の間の設置距離に制限はありますか。
A 無線送信機のWi-Fiが届く50~100m以内が目安ですが、電波を妨げる障害等の環境により条件は異なります。Wi-Fiが届かない場合、中継機の設置や一部有線配線することで対応が可能ですので、別途販売店にご相談ください。



YouTubeで動画公開中!

開発者による製品のご紹介動画です。ぜひご覧ください。

